

精神症状と精神科治療 の基礎知識

埼玉医科大学病院

神経精神科・心療内科／てんかんセンター

渡邊 さつき

利益相反(COI)開示 発表者：渡邊さつき

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

スライド中の出典記載のない図は演者の作成したものです。

本講演には一部演者個人の見解が含まれております。これらは専門家としての経験に基づいて提示するものであることを予めお断り致します。

トピックス

1. はじめに
2. てんかんと精神症状
3. 精神科で行われること



てんかんと精神症状





てんかんのある患者の約30%が精神疾患をもつ

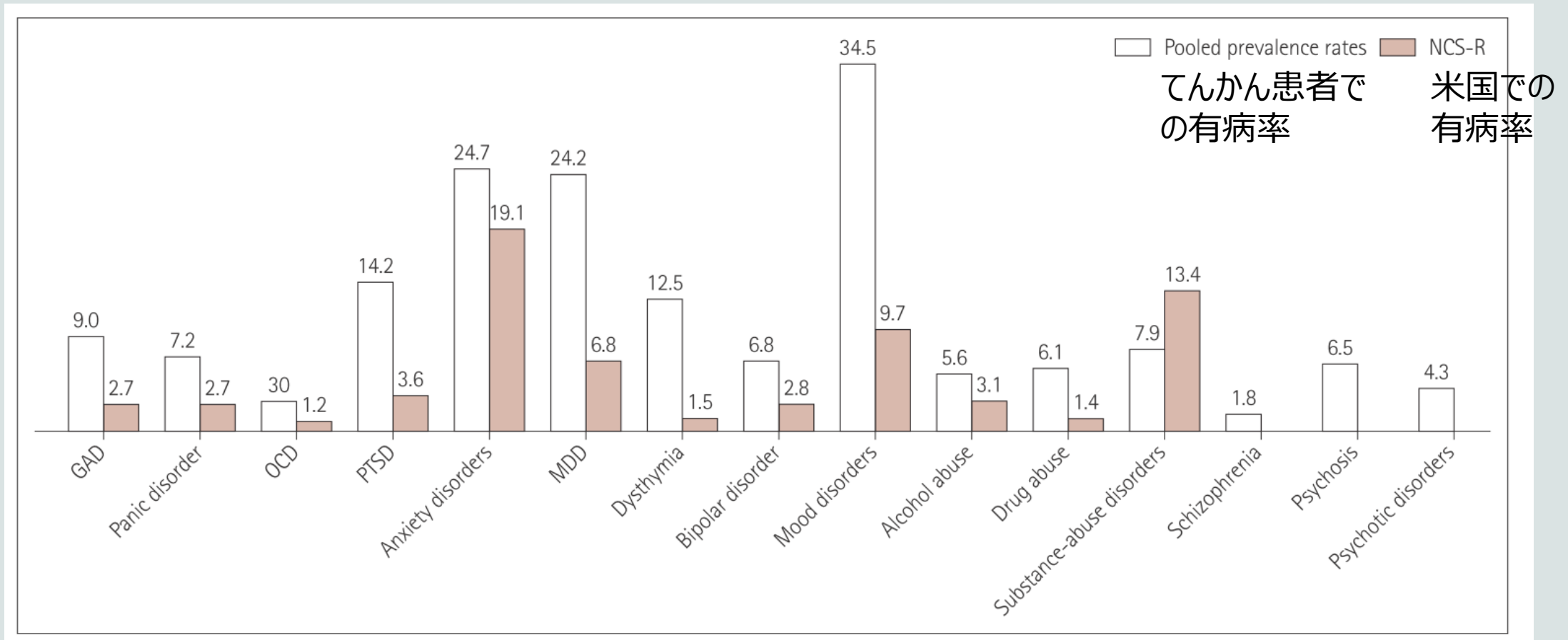
(Tellez-Zenteno; Epilepsia, 2007)

他の神経疾患でも精神症状は合併しやすい

- 脳卒中の生存者の3分の1がうつ病に罹患する (Ayerbe; Br J Psychiatry, 2013)
- パーキンソン病の診断時点で40%に抑うつ、不安を認める (Khoo; Neurology, 2013)
- 多発性硬化症では、うつ病の生涯有病率50%、年間有病率20%

(Sa; Clin Neurol Neurosurg, 2008)

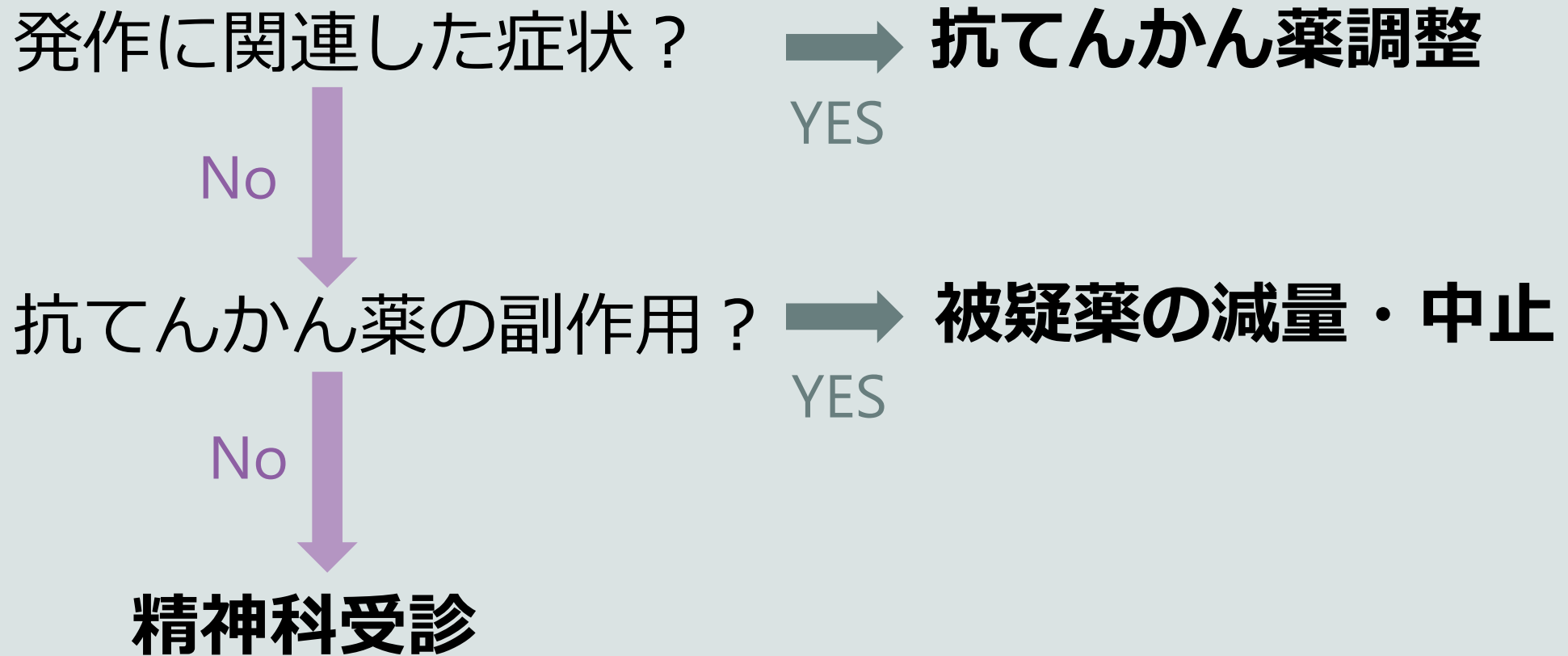
てんかんでうつ病と不安障害が多い



3138文献→23文献をレビュー

(Lu, 2021; J Clin Neurology)

精神症状への対応



精神科で行われること

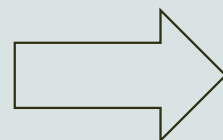


診断の考え方と治療



精神症状に対する見方

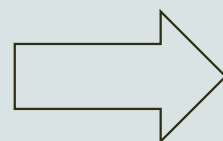
抑うつ気分、食欲低下



うつ病？！

精神科医の場合

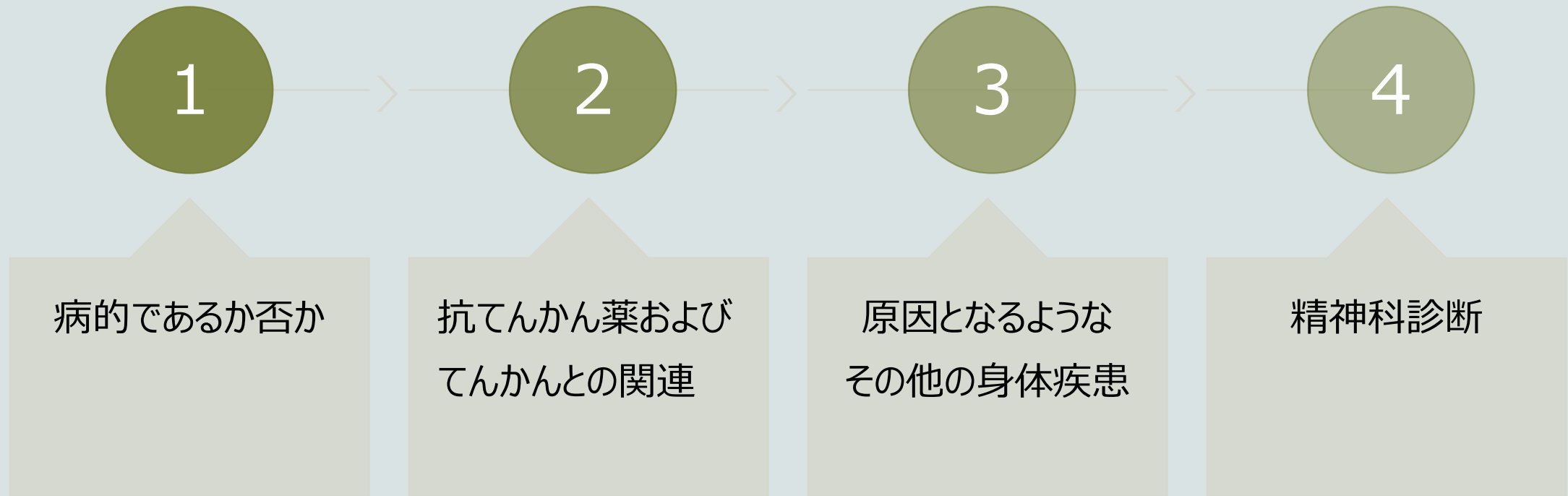
抑うつ気分、食欲低下



悲哀反応、薬剤性の精神症状、亜鉛欠乏症、ビタミン欠乏症、甲状腺機能低下症などの内分泌自己免疫疾患、悪性腫瘍、認知症、うつ病、双極性障害、適応障害、パーソナリティ障害、依存症、統合失調症、摂食障害 etc…

(様々な可能性を考える)

てんかんのある人の精神症状をみた時に考える手順



精神科で行われる治療

01

薬物療法

02

ニューロモデュ
レーション

03

精神療法

04

心理教育

05


環境療法

06

生活支援



- てんかんのある人には精神症状が合併しやすい
- 精神科てんかん専門医は少ない
- 精神科では様々な診断を検討している
- 精神科治療では様々な治療法がある
- 患者さんの気持ちに配慮して精神科を紹介を



—
ご静聴ありがとうございます